

資料編 1. 都市計画市民意向把握調査

1 調査概要

調査目的

新見市都市計画マスタープランの見直しにあたり、都市づくりに必要な住民の生活基盤や都市基盤整備等に対する意向を把握し、新たな都市将来像の検討、都市づくりの目標設定に反映させていくために、アンケート形式による調査を実施した。

調査方法

① 対象者	18歳以上の市民 2,000人（無作為抽出）
② 調査方式	無記名回答方式
③ 調査方法	郵送により調査票を配布・回収
④ 調査期間	令和元年7月19日～令和元年7月27日（9日間）

回収状況

地域	配布数 (A)	回収数 (B)	回収率 (B/A*100)
新見地域中部	1,200	618	51.5%
新見地域中部外	800	388	48.5%
住所不明	-	5	-
全体	2,000	1,011	50.6%

調査項目

設問 番号	項目	設問 形式
1 あなたご自身について		
設問 1	性別	S A
設問 2	年齢	S A
設問 3	住居地区	S A
設問 4	職業	S A
設問 5	勤務地または通学地	S A
設問 6	普通自動車免許、および自家用車の保有状況	S A
2 生活環境評価について		
設問 7	居住地区の住みやすさ（現在の評価と今後の重要性）	S A
3 今後の都市づくりについて		
設問 8	まちの将来像	MA
設問 9	今後の土地利用【都市化】	S A
設問 10	今後の土地利用【商業施設の整備】	S A
設問 11	今後の土地利用【農地や緑地の保全】	S A
設問 12	今後の道路整備	S A
4 新見市の今後の都市づくりについて		
設問 13	「コンパクト・プラス・ネットワーク」を知っていたか	S A
設問 14	「コンパクト・プラス・ネットワーク」を進めるべきか	S A
設問 15	「コンパクト・プラス・ネットワーク」が実現した場合の住居地希望	S A
設問 16	まちの拠点に充実されるべき施設	MA
設問 17	暮らしを豊かにするためのアイデア	F A

※設問形式の凡例は以下のとおり

S A : Single Answer (単数回答)

MA : Multiple Answer (複数回答)

F A : Free Answer (自由回答)

2 調査結果の概要

2-1 あなたご自身について

設問1 あなたの性別は？

回答者の性別は、「女性」が53.8%、「男性」が46.0%となっています。

No.	カテゴリー名	n	%
1	男性	463.0	46.0
2	女性	542.0	53.8
3	その他※	2.0	0.2
	不明・無回答	4.0	
	全体	1011.0	100.0

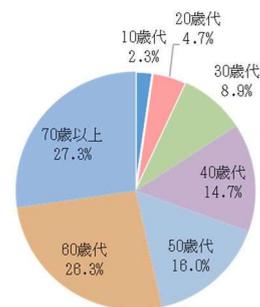


※「その他」とは性的マイノリティを考慮した選択肢です。戸籍上の区分とは別にご自身の主観によるものです。

設問2 あなたの年齢は？

回答者の年齢は、「70歳以上」が27.3%と最も多く、次いで「60歳代」が26.3%であり、回答者のうち60歳以上の占める割合が5割以上と多くなっています。20代～50代の生産年齢の回答者も4割以上と多くなっています。

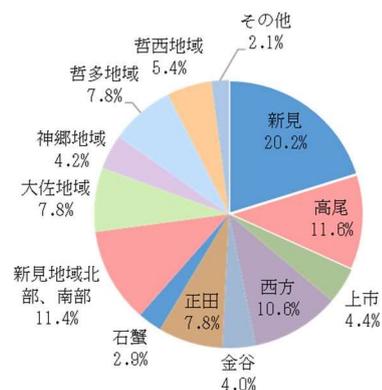
No.	カテゴリー名	n	%
1	10歳代	23.0	2.3
2	20歳代	47.0	4.7
3	30歳代	90.0	8.9
4	40歳代	148.0	14.7
5	50歳代	161.0	16.0
6	60歳代	265.0	26.3
7	70歳以上	275.0	27.3
	不明・無回答	2.0	
	全体	1011.0	100.0



設問3 あなたがお住いの地区は？

回答者の居住地区は、「新見」が20.2%と最も多く、次いで「高尾」が11.6%、「新見地域北部、南部」が11.4%となっています。

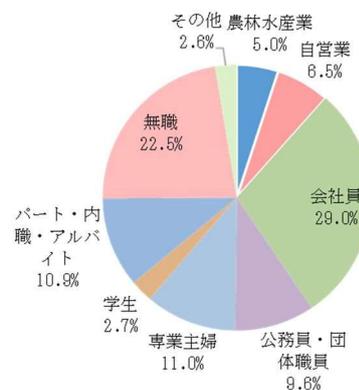
No.	カテゴリー名	n	%
1	新見	203.0	20.2
2	高尾	117.0	11.6
3	上市	44.0	4.4
4	西方	107.0	10.6
5	金谷	40.0	4.0
6	正田	78.0	7.8
7	石蟹	29.0	2.9
8	新見地域北部、南部	115.0	11.4
9	大佐地域	78.0	7.8
10	神郷地域	42.0	4.2
11	哲多地域	78.0	7.8
12	哲西地域	54.0	5.4
13	その他	21.0	2.1
	不明・無回答	5.0	
	全体	1011.0	100.0



設問4 あなたの職業は？

回答者の職業は、「会社員」が29.0%と最も多く、次いで「無職」が22.5%、「専業主婦」が11.0%となっています。その他では、「介護職」が5件、「講師・非常勤」が4件となっています。

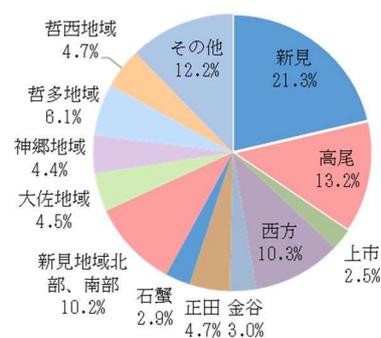
No.	カテゴリー名	n	%
1	農林水産業	50.0	5.0
2	自営業	65.0	6.5
3	会社員	289.0	29.0
4	公務員・団体職員	96.0	9.6
5	専業主婦	110.0	11.0
6	学生	27.0	2.7
7	パート・内職・アルバイト	109.0	10.9
8	無職	224.0	22.5
9	その他	26.0	2.6
	不明・無回答	15.0	
	全体	1011.0	100.0



設問5 あなたの勤務地（通学地）は？

回答者の勤務地区は、「新見」が21.3%と最も多く、次いで「高尾」が13.2%、「西方」が10.3%となっています。「その他」の地区に勤務している回答者も12.2%います。その他では、「高梁市」が17件、「岡山市」が7件となっています。

No.	カテゴリー名	n	%
1	新見	155.0	21.3
2	高尾	96.0	13.2
3	上市	18.0	2.5
4	西方	75.0	10.3
5	金谷	22.0	3.0
6	正田	34.0	4.7
7	石蟹	21.0	2.9
8	新見地域北部、南部	74.0	10.2
9	大佐地域	33.0	4.5
10	神郷地域	32.0	4.4
11	哲多地域	44.0	6.1
12	哲西地域	34.0	4.7
13	その他	89.0	12.2
	不明・無回答	284.0	
	全体	1011.0	100.0

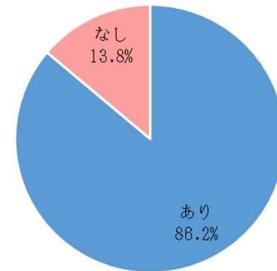


設問6 あなたの運転免許及び自家用車の保有状況は？

【普通自動車免許の保有状況】

回答者の8割以上が免許を保有しています。

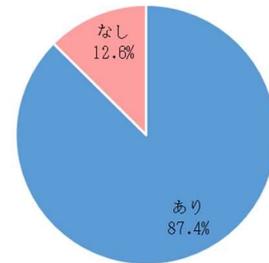
No.	カテゴリー名	n	%
1	あり	859.0	86.2
2	なし	138.0	13.8
	不明・無回答	14.0	
	全体	1011.0	100.0



【自由に使える車の有無】

回答者の8割以上が自家用車を保有しています。

No.	カテゴリー名	n	%
1	あり	779.0	87.4
2	なし	112.0	12.6
	不明・無回答	120.0	
	全体	1011.0	100.0

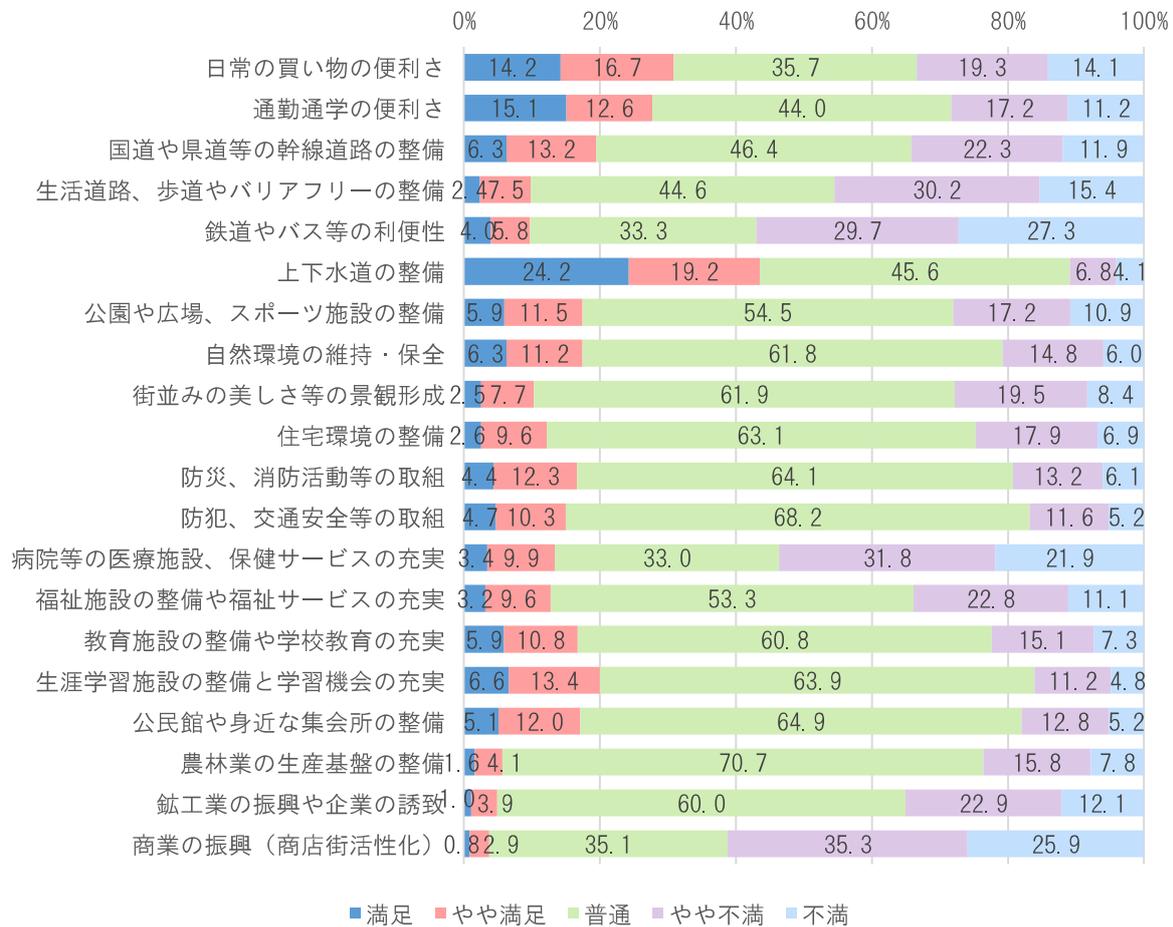


2-2 生活環境評価について

設問7 あなたがお住まいの地区の住みやすさについて、お尋ねします。次の20の項目ごとに、現在の評価（満足度）と今後の重要性について、あなたのお考えに最も近い番号を1つずつ選んでください。

【現在の評価（満足度）】

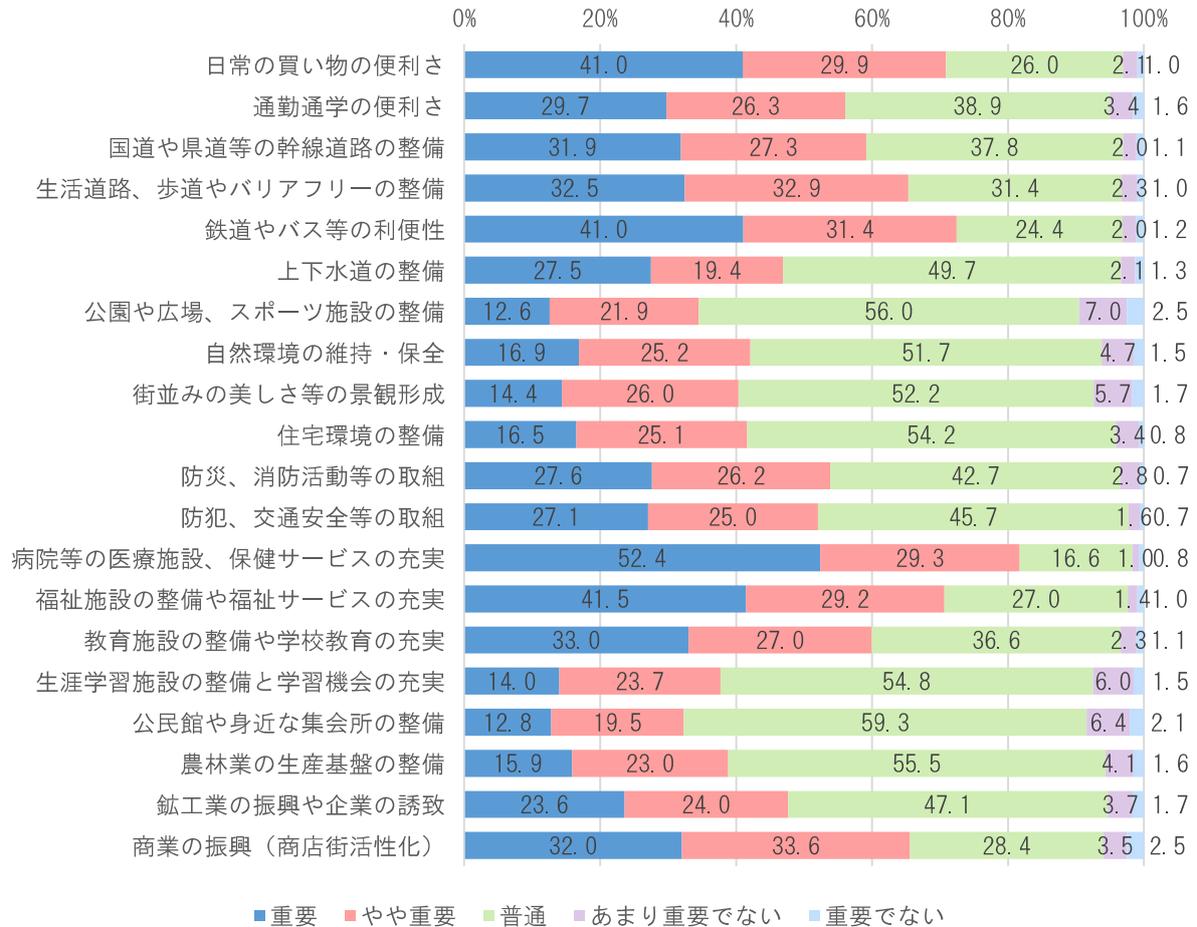
現在の評価が高い項目（満足度+やや満足の合計）は「上下水道の整備」が43.4%と最も多く、次いで「日常の買い物の便利さ」が30.9%、「通勤通学の便利さ」が27.7%となっています。一方で、評価が低い項目（不満+やや不満の合計）は「商業の振興（商店街活性化）」が61.2%と最も多く、次いで「鉄道やバス等の利便性」が57.0%、「病院等の医療施設、保健サービスの充実」が53.7%となっています。



【今度の重要性】

重要性が高い項目（重要+やや重要の合計）は「病院等の医療施設、保健サービスの充実」が81.7%と最も多く、次いで「鉄道やバス等の利便性」が72.4%、「日常の買い物の便利さ」が70.9%となっています。

一方で、重要度が低い項目（重要でない+あまり重要でないの合計）は「公園や広場、スポーツ施設の整備」が9.5%と最も多く、次いで「公民館や身近な集会所の整備」が8.5%となっています。



【ニーズ度※】

各項目の満足度および重要度からニーズ度※を算出すると、「⑬ 病院などの医療施設、保健サービスの充実」(1.90)、「⑤ 鉄道やバス等の利便性」(1.80)、「⑳ 商業の振興（商店街活性化）」(1.72)などが高くなっています。

全体	平均値：2.8	平均値：3.7	平均値：0.9
項目	満足度 (A)	重要度 (B)	ニーズ度 (B-A=C)
① 日常の買い物の便利さ	2.97	4.07	1.1
② 通勤通学の便利さ	3.03	3.79	0.76
③ 国道や県道等の幹線道路の整備	2.79	3.86	1.07
④ 生活道路、歩道やバリアフリーの整備	2.51	3.93	1.42
⑤ 鉄道やバス等の利便性	2.29	4.09	1.8
⑥ 上下水道の整備	3.52	3.69	0.17
⑦ 公園や広場、スポーツ施設の整備	2.84	3.35	0.51
⑧ 自然環境の維持・保全	2.96	3.51	0.55
⑨ 街並みの美しさ等の景観形成	2.76	3.45	0.69
⑩ 住宅環境の整備	2.83	3.53	0.7
⑪ 防災、消防活動等の取り組み	2.95	3.77	0.82
⑫ 防犯、交通安全等の取り組み	2.97	3.76	0.79
⑬ 病院等の医療施設、保健サービスの充実	2.41	4.31	1.9
⑭ 福祉施設の整備や福祉サービスの充実	2.7	4.08	1.38
⑮ 教育施設の整備や学校教育の充実	2.92	3.88	0.96
⑯ 生涯学習施設の整備と学習機会の充実	3.05	3.42	0.37
⑰ 公民館や身近な集会所の整備	2.98	3.34	0.36
⑱ 農林業の生産基盤の整備	2.75	3.47	0.72
⑲ 鉱工業の振興や企業の誘致	2.58	3.64	1.06
⑳ 商業の振興（商店街活性化）	2.17	3.89	1.72



平均点よりも低い



平均点よりも高い

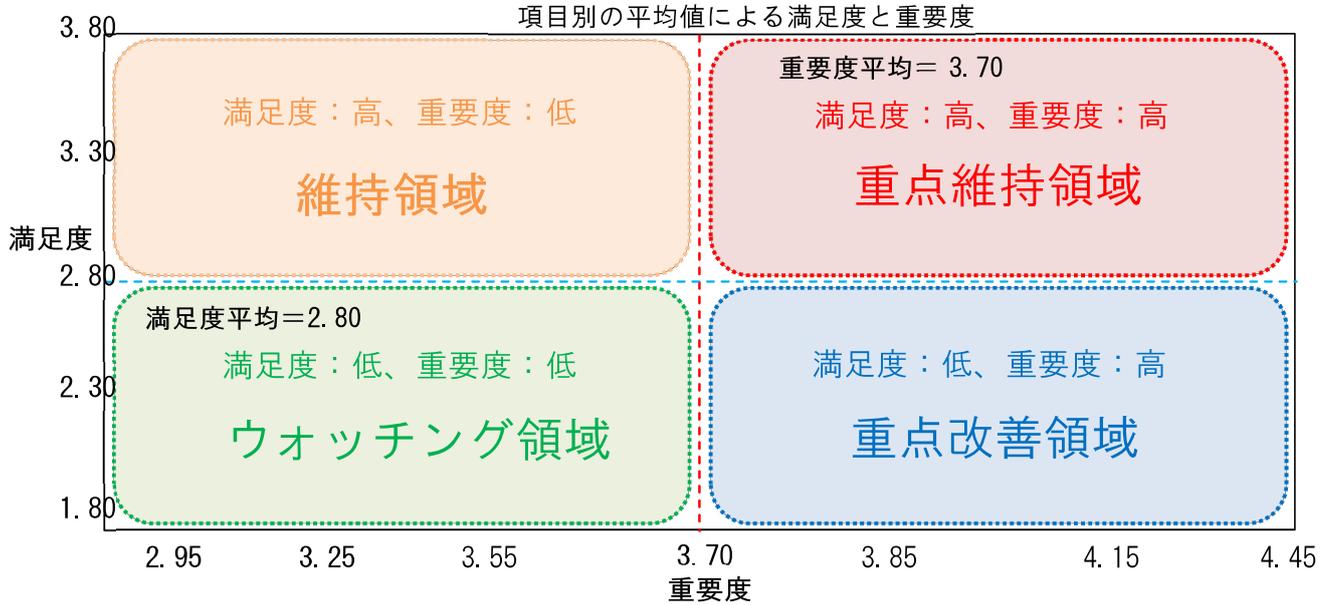
【※ニーズ度について】

- ・各項目の満足度と重要度を点数化し、その差をニーズ度とした
- ・各項目の点数は、「満足」「重要」を5点、「やや満足」「やや重要」を4点、「普通」を3点、「やや不満」「あまり重要でない」を2点、「不満」「重要でない」を1点とし、回答者の平均点を当該項目の点数とした。

項目別の分布

・全体平均値に対する各分野の満足度と重要度の平均値の分布から、各項目を『重点改善領域』、『重点維持領域』、『ウォッチング領域』、『維持領域』に分類し、次に整理します。

■項目別評価分布

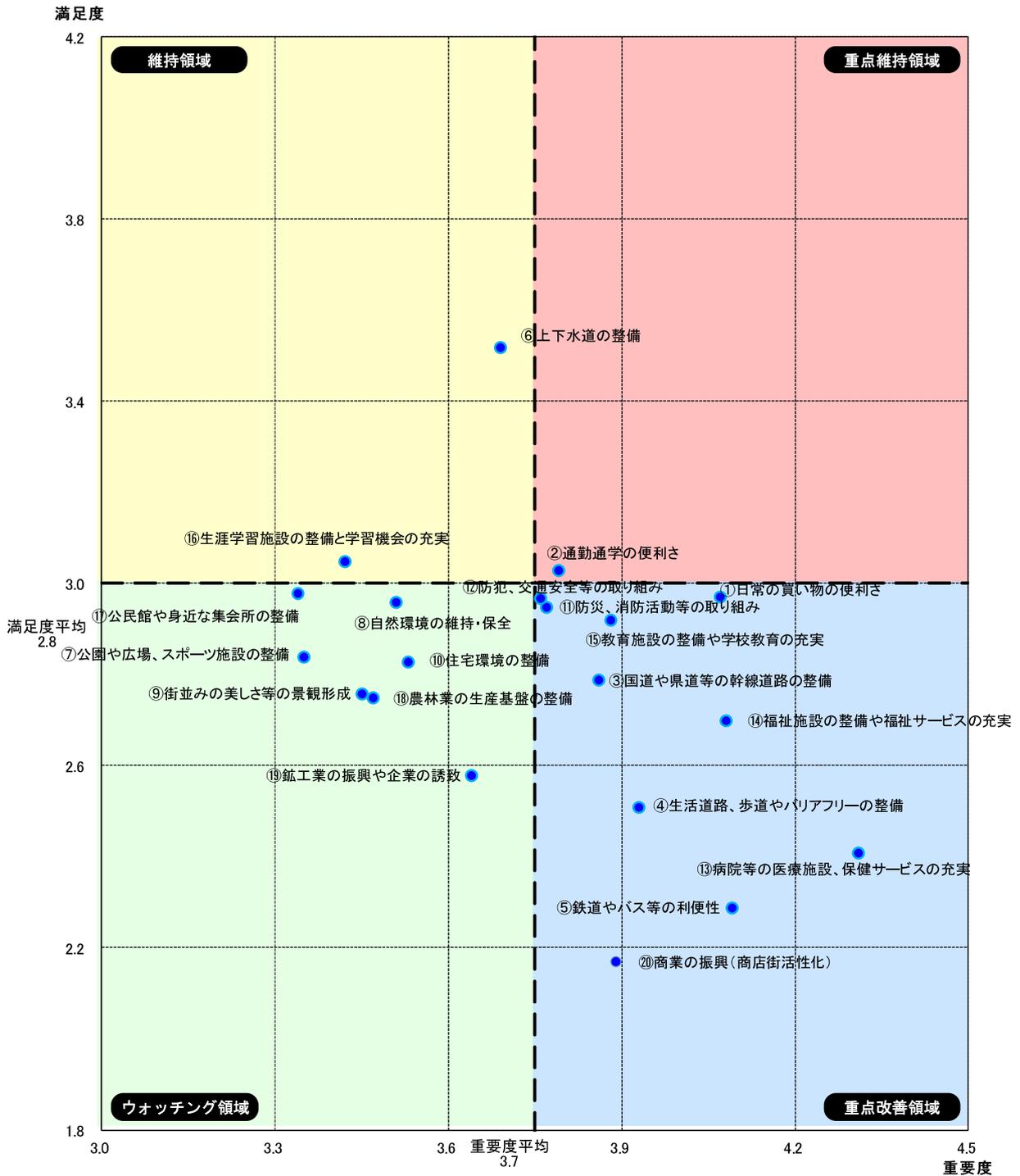


■領域区分

領域	領域の位置づけ	該当項目
重点改善領域	<u>重要度が高く満足度が低い</u> 満足度を高めるための重点的な改善（取組み）が必要な領域	<ul style="list-style-type: none"> ・国道や県道等の幹線道路の整備 ・生活道路、歩道やバリアフリーの整備 ・鉄道やバス等の利便性 ・病院等の医療施設、保健サービスの充実 ・福祉施設の整備や福祉サービスの充実 ・商業の振興（商店街活性化）
重点維持領域	<u>重要度、満足度ともに高い</u> 現在の水準が低下しないように重点的に維持していくことが必要な領域	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の買い物の便利さ ・通勤通学の便利さ ・防災、消防活動等の取組み ・防犯、交通安全等の取組み ・教育施設の整備や学校教育の充実
ウォッチング領域	<u>重要度、満足度ともに低い</u> 推移を注視しながら現状維持、あるいは、改善が必要な領域	<ul style="list-style-type: none"> ・街並みの美しさ等の景観形成 ・農林業の生産基盤の整備 ・鉱工業の振興や企業の誘致
維持領域	<u>重要度が低く満足度が高い</u> 現状の維持が必要な領域	<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道の整備 ・公園や広場、スポーツ施設の整備 ・自然環境の維持・保全 ・住宅環境の整備 ・生涯学習施設の整備と学習機会の充実 ・公民館や身近な集会所の整備

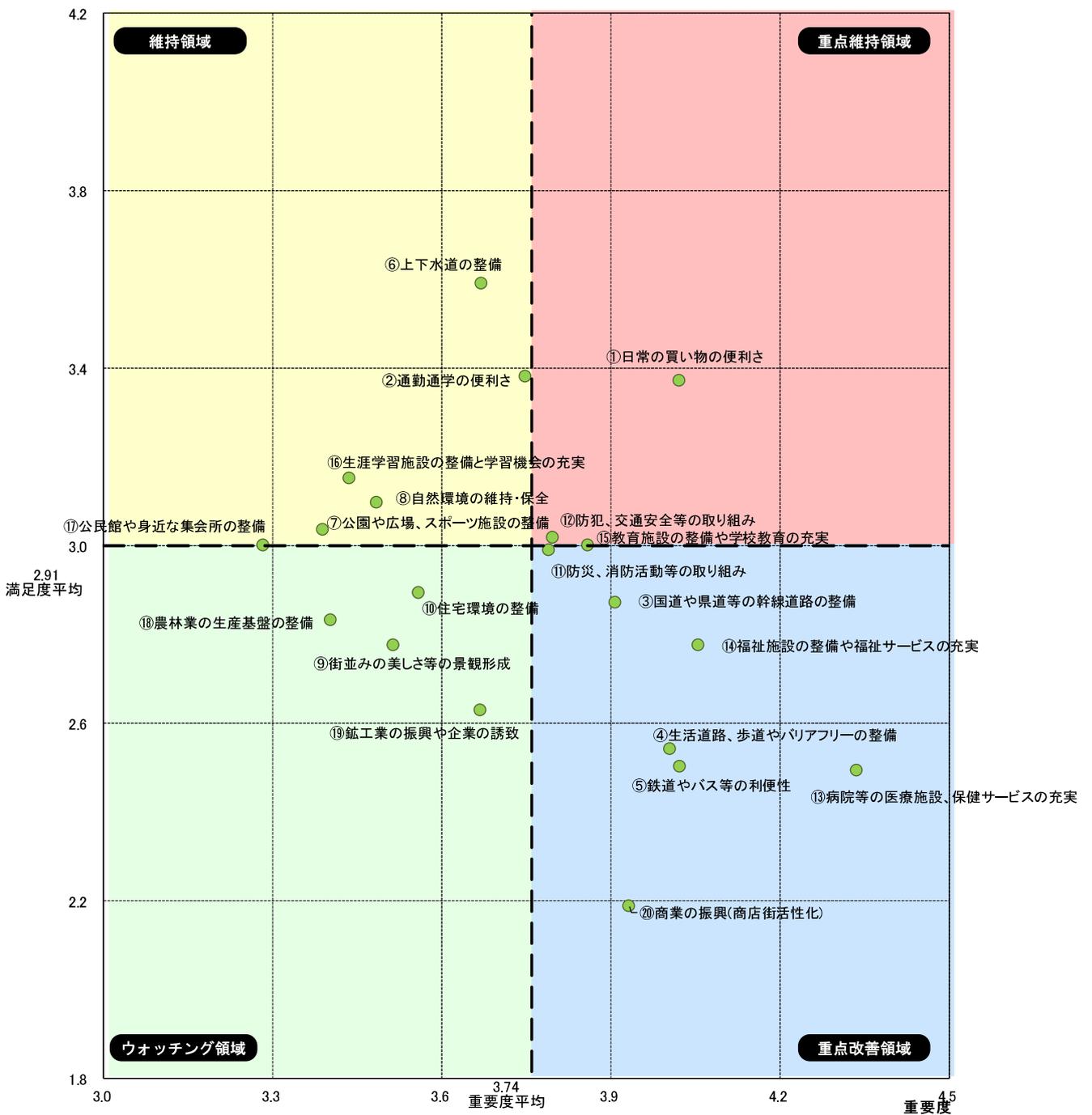
【市域全体の項目別分布図】

・市域全体での視点において、特に、重点改善領域に位置する「商業の振興」や「鉄道やバス等の利便性」、「病院等の医療施設、保健サービスの充実」、「生活道路、歩道やバリアフリーの整備」、「福祉施設の整備や福祉サービスの充実」、「国道や県道等の幹線道路の整備」は、重要度が高いものの、満足度が低い分野であり、重点的に改善を検討していく必要があります。



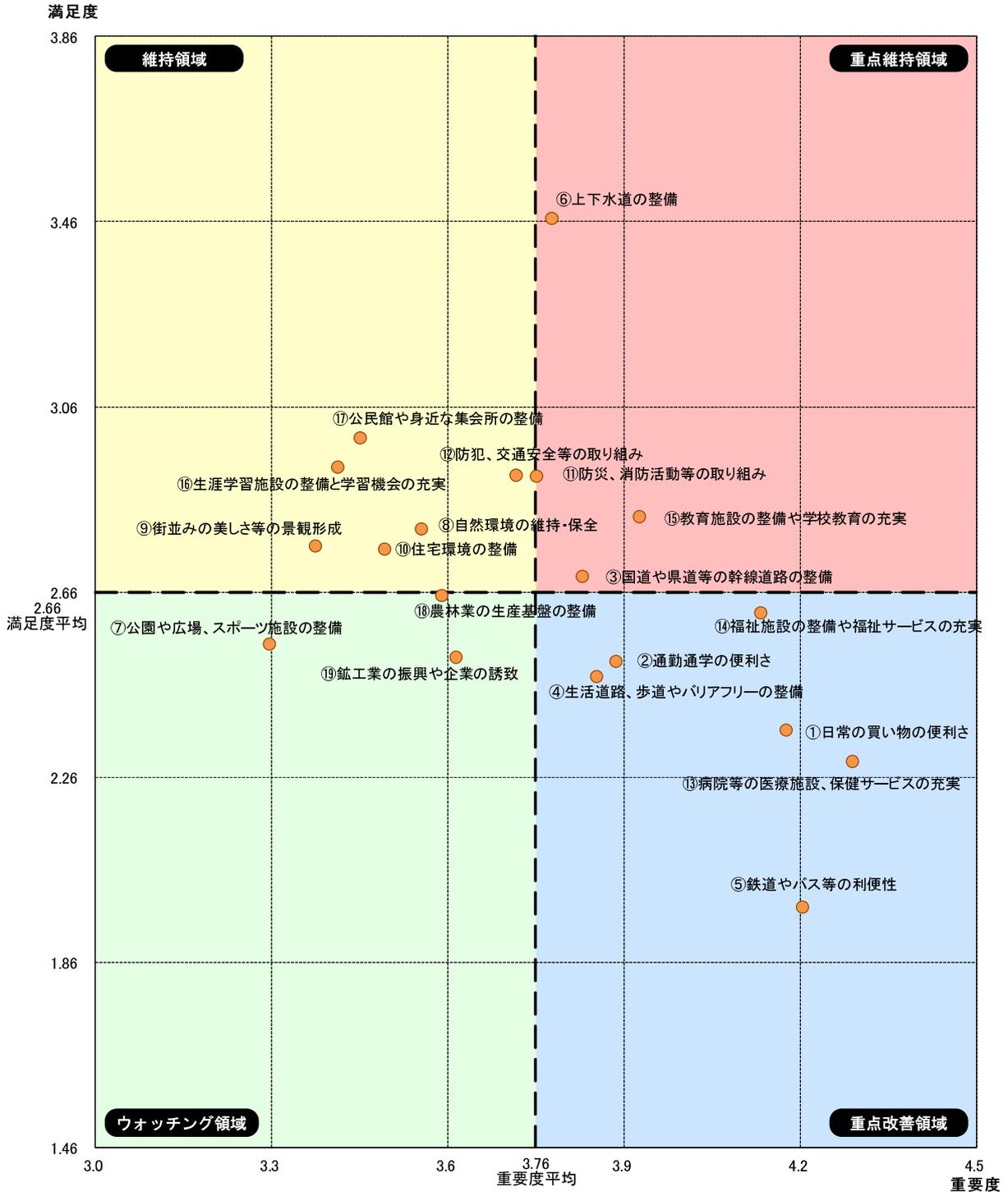
【新見地域中部(新見、高尾、上市、西方、金谷、正田、石蟹)】

・新見地域中部での視点において、特に、重点改善領域に位置する「国道や県道等の幹線道路の整備」や「生活道路、歩道やバリアフリーの整備」、「鉄道やバス等の利便性」、「防災、消防活動等の取り組み」、「病院等の医療施設、保健サービスの充実」、「福祉施設の整備や福祉サービスの充実」については、重要度が高いものの、満足度が低い分野であり、重点的に改善を検討していく必要があります。



【新見地域中部以外(新見地域北部、南部、大佐地域、神郷地域、哲多地域、哲西地域)】

・新見地域中部以外での視点において、特に、重点改善領域に位置する「日常の買い物の便利さ」や「通勤通学の便利さ」、「生活道路、歩道やバリアフリーの整備」、「鉄道やバス等の利便性」、「病院等の医療施設、保健サービスの充実」、「福祉施設の整備や福祉サービスの充実」については、重要度が高いものの、満足度が低い分野であり、重点的に改善を検討していく必要があります。



2-3 今後の都市づくりについて

設問8 まちの将来像について、あなたが重要だと思うまちは？

「福祉や医療が充実したまち」が重要視される傾向があり全体の285.3ポイントを占めています。次いで、「災害に対する備えが充実したまち」が219.0ポイント、「子育て支援や教育環境が充実したまち」が195.6ポイントとなりました。その他では、「若者が定住したいと思えるまち」が5件、「農林・山林を保全した自然環境が豊かなまち」が4件となっています。

No.	カテゴリー名	n	ポイント
1	商業施設が充実したまち	458.0	167.8
2	鉱工業等の産業が盛んなまち	195.0	71.4
3	住民によるまちづくり活動が盛んなまち	323.0	118.3
4	道路や公園等の生活環境が整ったまち	386.0	141.4
5	子育て支援や教育施設等が充実したまち	534.0	195.6
6	福祉や医療が充実したまち	779.0	285.3
7	歴史・文化を大切にするまち	189.0	69.2
8	防犯や交通安全等が充実したまち	425.0	155.7
9	災害に対する備えが充実したまち	598.0	219.0
10	地域資源を活用した観光が盛んなまち	272.0	99.6
12	その他	39.0	14.3
	不明・無回答	27.0	
	全体	4225.0	1537.7



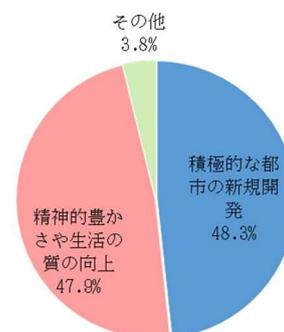
【※⑪項目について】

項目11が項目3「住民によるまちづくり活動が盛んなまち」と同じ内容であったため、項目3に合算し統計を計算しています。

設問9 今後の土地利用について重要だと思う取り組みは？

今後の土地利用に関しては、「都市の新規開発」が48.3%、「生活の質の向上」が47.9%と同程度の回答数が得られました。その他では、「空家、空地等の処理、活用」が8件、「医療施設、福祉施設の整備」が5件となっています。

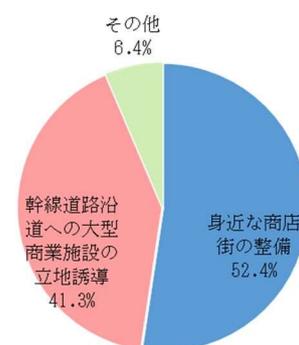
No.	カテゴリー名	n	%
1	積極的な都市の新規開発	470.0	48.3
2	精神的豊かさや生活の質の向上	466.0	47.9
3	その他	37.0	3.8
	不明・無回答	38.0	
	全体	1011.0	100.0



設問10 商業施設について重要だと思う取り組みは？

商業施設に関しては、「身近な商店街の整備」が52.4%、「幹線道路沿道への大型商業施設の立地誘導」が41.3%となっています。その他では、「他地域との商品の差別化を図った道の駅」が6件、「現状の商業施設の維持」が3件となっています。

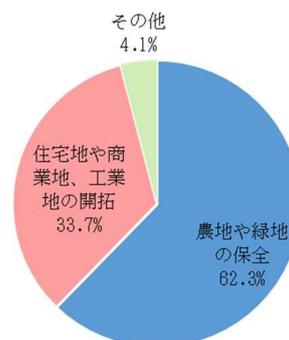
No.	カテゴリー名	n	%
1	身近な商店街の整備	500.0	52.4
2	幹線道路沿道への大型商業施設の立地誘導	394.0	41.3
3	その他	61.0	6.4
	不明・無回答	56.0	
	全体	1011.0	100.0



設問11 農地や緑地の保全について重要だと思う取り組みは？

「農地や緑地の保全」が6割以上を占めています。その他では、「農地や緑地の保全、住宅地や商業地、工業地の開拓のバランスを図った取組み」が8件、「休耕地の転用」が6件となっています。

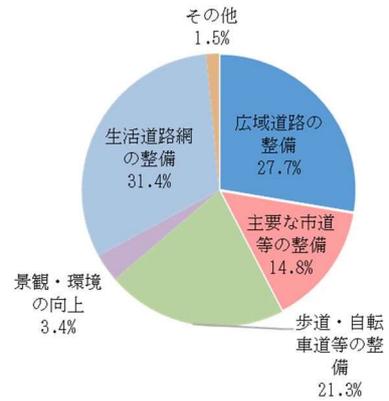
No.	カテゴリー名	n	%
1	農地や緑地の保全	597.0	62.3
2	住宅地や商業地、工業地の開拓	323.0	33.7
3	その他	39.0	4.1
	不明・無回答	52.0	
	全体	1011.0	100.0



問 12 今後の道路整備について、あなたが必要だと思う道路整備は？

「生活道路網の整備」が最も多く 31.4%を占めています。次いで、「広域道路の整備」が 27.7%を占めています。「景観・環境の向上」は 3.4%と少ない結果となりました。その他では、「災害時の迂回路の新設」が 3件、「現状の幹線道路の防災対策・強化」が 2件となっています。

No.	カテゴリー名	n	%
1	広域道路の整備	272.0	27.7
2	主要な市道等の整備	145.0	14.8
3	歩道・自転車道等の整備	209.0	21.3
4	景観・環境の向上	33.0	3.4
5	生活道路網の整備	309.0	31.4
6	その他	15.0	1.5
	不明・無回答	28.0	
	全体	1011.0	100.0

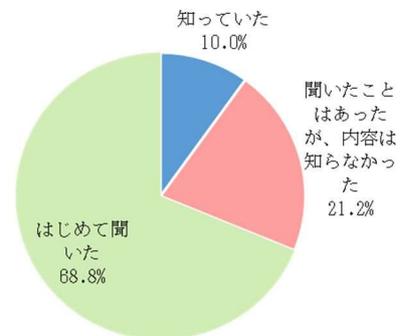


2-4 新見市の今後の都市づくりについて

設問 13 「コンパクト・プラス・ネットワーク」についてご存じでしたか？

「はじめて聞いた」と答えた回答者が約 7 割を占めており、「聞いたことはあったが、内容は知らなかった」が 21.2%とほとんどの住民が認知されていないです。

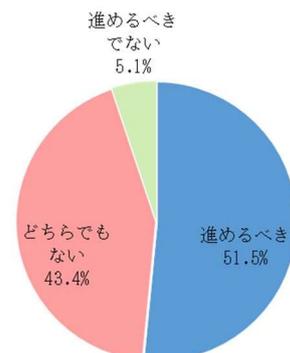
No.	カテゴリー名	n	%
1	知っていた	99.0	10.0
2	聞いたことはあったが、内容は知らなかった	211.0	21.2
3	はじめて聞いた	684.0	68.8
	不明・無回答	17.0	
	全体	1011.0	100.0



設問 14 「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを進めることについて、どう思いますか？

「進めるべき」と答えた回答者が 5 割以上を占めています。対して、「進めるべきでない」と回答した人は 5.1%でした。

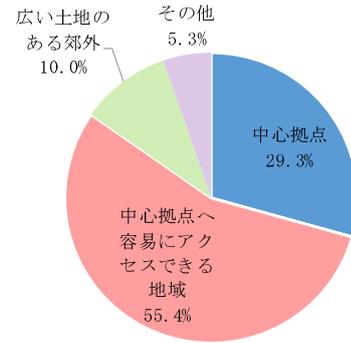
No.	カテゴリー名	n	%
1	進めるべき	504.0	51.5
2	どちらでもない	424.0	43.4
3	進めるべきでない	50.0	5.1
	不明・無回答	33.0	
	全体	1011.0	100.0



設問 15 「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方によるコンパクトなまちが実現した場合、あなたはどのような場所に住みたいですか？

「中心拠点へ容易にアクセスできる地域」が5割以上で、次いで「中心拠点」が29.3%占めています。その他では「今の場所に住みたい」が24件、「公共交通により、容易にアクセスできる広い土地のある郊外」が5件となっています。

No.	カテゴリー名	n	%
1	中心拠点	282.0	29.3
2	中心拠点へ容易にアクセスできる地域	533.0	55.4
3	広い土地のある郊外	96.0	10.0
4	その他	51.0	5.3
	不明・無回答	49.0	
	全体	1011.0	100.0



設問 16 今後のまちづくりにおいて、駅周辺等のまちの拠点に充実されるべきと思う施設は？

駅周辺等のまちの拠点に充実されるべきと思う施設は、「総合病院」が最も重要視されており、次いで、「食品・日用品店舗」が重要視されています。

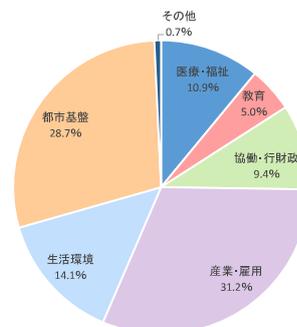
No.	カテゴリー名	n	ポイント
1	食品・日用品店舗	438.0	160.4
2	大型ショッピングセンター	393.0	144.0
3	電気製品・家具等の専門店	73.0	26.7
4	総合病院	645.0	236.3
5	診療所（医療）	94.0	34.4
6	老人ホーム	161.0	59.0
7	デイサービス施設	114.0	41.8
8	認定子ども園・保育園・幼稚園	102.0	37.4
9	公民館や集会所	43.0	15.8
10	図書館	112.0	41.0
11	多目的ホール等の文化施設	183.0	67.0
12	小・中・高校等の学校施設	136.0	49.8
	不明・無回答	36.0	
	全体	2530.0	913.6



2-5 自由意見について(設問 17)

- ・自由意見は、回答者 1,011 名のうち、321 名(31.7%)からの回答、404 件の意見がありました。
- ・自由意見の内容を次の6分野に区分した場合、「産業・雇用」が 31.2%と最も多く、次いで「都市基盤」が 28.7%、「生活環境」が 14.1%となっています。
- ・意見の多い分野の順で、各分野の意見概要を示します。

分類	件数	割合(%)
医療・福祉	44	10.9
教育	20	5.0
協働・行財政	38	9.4
産業・雇用	126	31.2
生活環境	57	14.1
都市基盤	116	28.7
その他	3	0.7
合計	404	100



【都市基盤】

「道路・交通網の充実・改善」に関する意見が 50.0%と最も割合が多く、次いで「空地・土地の有効活用」が 13.9%、「遊戯施設の充実」が 12.3%となっています。

都市基盤	件数	割合(%)
道路・交通網の充実・改善	61	50.0
空家・土地の有効活用	17	13.9
遊戯施設の充実	15	12.3
市街地の整備	9	7.4
防災環境の確保	8	6.6
住宅施策の推進	3	2.5
その他	9	7.4
合計	122	100

主な意見概要

- ・高齢者を中心とした交通弱者、買物難民等の暮らしやすさの向上に向け、「ら・くるっと」の本数やルート、対応地域の充実、乗合バスの巡回など公共交通機関の充実が必要です。
- ・正田エリアを中心に国道 180 号のう回路を整備することが必要です。通行止め（工事・天候等の理由による）の際に混雑や危険が生じる可能性が危惧されています。

【産業・雇用】

「商業の振興」に関する意見が 61.2%と最も割合が多く、次いで「企業誘致・雇用対策」が 24.0%、「観光の振興」が 11.6%となっています。

産業・雇用	件数	割合(%)
商業の振興	79	61.2
企業誘致・雇用対策	31	24.0
観光の振興	15	11.6
農林業の推進	3	2.3
その他	1	0.8
合計	129	100.0

主な意見概要

- ・駅周辺に衣服店やレストランなどの店舗を増やし、利便性が高い地域に大型ショッピングセンターの誘致を期待します。また、若者が定着できる企業誘致が必要です。
- ・新見市にある魅力を市外に PR していくための取り組みや、観光資源の開発等が必要となります。

【生活環境】

「高齢者施設・バリアフリーの充実」に関する意見が26.7%と最も割合が多く、次いで「若者誘致の推進」に関する意見が24.4%、「景観の向上」が20.0%となっています。

生活環境	件数	割合(%)
高齢者施設・バリアフリーの充実	12	26.7
景観の向上	9	20.0
公共施設の整備	8	17.8
防犯・交通安全の充実	4	8.9
若者誘致の推進	11	24.4
その他	1	2.2
合計	45	100

主な意見概要

- ・高齢者の憩いの場所となる施設の設置や、公共交通施設のバリアフリー化等の高齢者が生き生きと過ごせるまちづくりが必要です。
- ・児童から小中高校生の需要に応じた遊び・学び・集うなどの施設の充実を図り、子どもたちが将来新見市に戻ってきたいと思えるようなまちづくりを期待します。
- ・道路の景観向上や、新見市の豊かな自然を生かした散歩道・サイクリングロードの整備、街灯の増設や防犯カメラの設置など安全・安心なまちづくりを望みます。

【協働・行財政】

「協働・コミュニティの推進」に関する意見が35.1%と最も割合が多く、次いで「税金・水道料金の削減」が29.7%、「自治体の運営・体制」が16.2%となっています。

協働・行財政	件数	割合(%)
協働・コミュニティの推進	13	35.1
税金・水道料金の削減	11	29.7
自治体の運営・体制	6	16.2
財政確保	2	5.4
その他	5	13.5
合計	37	86.48649

主な意見概要

- ・地域住民に対するまちづくり協議会やワークショップ等による、地域住民と共同でまちづくり事業を行う体制を望みます。

【医療・福祉】

「医療体制の充実」に関する意見が68.2%と最も割合が多く、次いで「子育て支援制度の充実」が15.9%、「高齢者支援制度」が11.4%となっています。

医療・福祉	件数	割合(%)
医療体制の充実	30	68.2
高齢者支援の充実	5	11.4
障害者支援制度の充実	2	4.5
子育て支援制度の充実	7	15.9
その他	0	0.0
合計	44	100

主な意見概要

- ・夜間も急病に対応できる救急医療体制、年齢に関係なく対応してくれる医療の充実を望みます。また、安心して出産・子育てができる環境が必要です。

【教育】

「教育施設の充実・改善」に関する意見が81.8%と最も割合が多い結果となっています。

教育	件数	割合(%)
教育施設の充実・改善	18	81.8
スポーツの振興	4	18.2
その他	0	0.0
合計	22	100.0

主な意見概要

- ・普通科高校の存続を希望します。また、学校や図書館、スポーツ施設などの子どもを育てる施設に対して、さらに予算を投じ、子どものためのまちづくりを重点的に検討していく必要があります。
- ・一般教育だけでなく、子どもたちが新見市の魅力を学ぶ環境づくりが必要です。

2-6 アンケート調査結果からの要点整理

■単純集計

【性別・年齢・住まいの地区】

- ・男女比はおよそ同程度です。
- ・「60歳以上の高齢者」が5割以上、「20代～50代の生産年齢の回答者」は4割以上です。
- ・「新見」が20.2%と最も多く、「新見地域中部」が全体の6割以上です。

【職業及び勤務地(通学地)】、【運転免許、自家用車の保有状況】

- ・職業は、「会社員」が3割程度であり、勤務地は、「新見」が21.3%と最も多いです。
- ・8割以上が運転免許、自家用車を保有しています。

【生活環境評価】

- ・新見市全域では、「病院などの医療施設、保健サービスの充実」、「鉄道やバス等の利便性」、「商業の復興(商店街の活性化)」のニーズが高くなっています。
- ・新見地域中部は、「国道や県道等の幹線道路の整備」、「防災、消防活動等の取り組み」について重点的に改善を検討する必要があります。
- ・新見地域中部以外は、「日常の買い物の便利さ」、「通勤通学の便利さ」について重点的に改善を検討する必要があります。
- ・「生活道路、歩道やバリアフリーの整備」、「鉄道やバス等の利便性」、「病院などの医療施設、保健サービスの充実」、「福祉施設の整備や福祉サービスの充実」については、地域に関わらず、共通して重点的に改善を検討する必要があります。

【今後の都市づくりについて】

- ・まちの将来像は「福祉や医療が充実したまち」が最も重要視されており、次いで、「災害に対する備えが充実したまち」が重要視されています。
- ・土地利用では、「積極的な都市の新規開発」と「生活の質の向上」は同程度、重要視されています。
- ・商業施設では、「身近な商店街の整備」は52.4%であり、「大型商業施設の立地誘導」と比べ、1割程度多く重要視されています。
- ・農地や緑地の保全では、「農地や緑地の保全」は62.3%であり、「住宅地や商業地、工業地の開拓」と比べ、3割程度多く重要視されています。
- ・道路整備では、「生活道路網の整備」が31.4%と最も多く、次いで、「広域道路の整備」が27.7%です。

【コンパクト・プラス・ネットワーク】

- ・コンパクト・プラス・ネットワークを「はじめて聞いた」と答えた世帯は全体の7割程度です。
- ・上記のまちづくりを「進めるべき」と答えた回答者は半数程度で、4割は「どちらでもない」としています。
- ・上記のまちづくりが実現した場合の住みたい場所について、「中心拠点へ容易にアクセスできる地域」が5割以上で、次いで、「中心拠点」が3割程度です。
- ・駅周辺等のまちの拠点に充実されるべきと思う施設は、「総合病院」が最も重要視されており、次いで、「食品・日用品店舗」が重要視されています。

■クロス集計

《各世代を中心とした分析》

- ・新見地域中心部の住まいにおいて、50代以下の割合が多いのは、「正田」、60代以上の割合が多いのは「石蟹地区」です。
- ・まちの将来像は、若い世代ほど、「商業施設が充実したまち」、「育児・教育環境が整ったまち」を重要視しており、高齢者ほど、「福祉・医療が充実したまち」、「災害に対する備えが充実したまち」を重要視しています。
- ・今後の土地利用は、若い世代ほど、「積極的な都市の開発」を重要視しており、高齢者ほど、「生活の質の向上」を重要視しています。
- ・今後の農地や緑地の保全は、世代に関わらず、5割以上が「農地や緑地の保全」を重要視しています。
- ・今後の道路整備は、若い世代ほど、「広域道路の整備」を重要視しており、年齢が上がるにつれ、「生活道路網の整備」を重要だと思ふ割合が多いです。
- ・駅周辺等のまちの拠点に充実されるべきと思ふ施設について、「10代～30代」は「大型ショッピングセンター」が最も多く、「40代以上」は「総合病院」が最も多いです。

《住まいの地区を中心とした分析》

- ・勤務地では、住まいが「新見地域中部」の世帯は、「新見地域中部」が勤務地の割合が78.8%であり、「新見地域中部以外」の世帯は、「新見地域中部」が勤務地の割合が27.6%です。
- ・住まいの生活環境評価について、地区に関わらず、「国道や県道等の幹線道路の整備」、「生活道路、歩道やバリアフリーの整備」、「病院等の医療施設、保健サービスの充実」は重点改善が必要です。また、「金谷地区」は「鉱工業の振興や企業の誘致」、「正田地区」、「石蟹地区」は「教育施設の整備や学校教育の充実」の重点改善が必要です。
- ・今後の土地利用では、住まいが「新見地域中部」の世帯は、「新見地域中部以外」の世帯と比べ、「都市の新規開発」を重要視しています。
- ・商業施設は、「大型商業施設の立地誘導」を重要視する割合が最も多いのは「正田地区」です。
- ・今後の農地や緑地の保全では、「住宅地や商業地、工業地の開拓」が重要だと思ふ割合が51.9%と最も多い地区は「石蟹地区」です。
- ・今後の道路整備では、「広域道路の整備」を最も重要視している地区は「上市地区」であり、「歩道、自転車道などの整備」を最も重要視している地区は「金谷地区」です。
- ・コンパクトなまちが実現した場合、「中心拠点」へ住みたい割合が4割と最も多いのは「西方地区」であり、「中心拠点へ容易にアクセスできる地域」へ住みたい割合が7割と多いのは「金谷地区」、であり、「広い土地のある郊外」へ住みたい割合が2割以上と多いのは「哲多地域」です。

2-7 H25年の「マスタープラン」からの住民意向の変化

H25年の「マスタープラン」策定において反映されたH21年に実施の「街路交通アンケート調査」と本調査との比較を行い、住民意向の変化について把握しました。

《生活環境評価について》

・現状の満足度

H25年時の満足度が高い項目：上下水道の整備、防災・消防活動

本調査の満足度が高い項目：上下水道の整備、生涯学習施設の整備と学習機会の充実

・今後の重要性

H25年時の重要度が高い項目：医療・福祉サービス、商業振興、工業誘致や企業誘致

本調査の重要度が高い項目：医療・福祉サービス、商業振興、道路整備、公共交通

- ◆H25年時点と比べ、近年の豪雨災害も伴い、防災・消防活動に関する満足度は低下しています。
- ◆今後の取り組み優先度は、H25年と比較し、医療・福祉サービス、商業振興は変わらず、道路整備や公共交通に関する充実を優先的に図る必要性があります。

《まちの将来像》

・H25年時における将来像に関し、住民が重視している項目

➡ 医療・福祉サービス、農地・山林を保全した自然環境が豊かなまち

・本調査における将来像に関し、住民が重視している項目

➡ 医療・福祉サービス、災害に対する備え、教育環境

- ◆高齢化社会に伴い、医療・福祉に関するニーズはさらに高まっており、合わせて、災害に対する備え、教育環境の充実したまちを望む世帯が多くなっています。

《今後の土地利用》

・「積極的な都市の新規開発」を望む世帯は、31.1%→48.3%と1割以上増加しています。

《商業施設》

・「身近な商店街の整備」を望む世帯は、38.8%→52.4%と1割以上増加しています。

《交通政策》

・「広域道路の整備」を望む世帯は、17.9%→27.7%と約1割増加しており、一方で、「主要な市道等の整備」を望む世帯は、26.6%→14.8%と1割以上減少しています。

資料編 2. 用語集

ア行

●アクセス

対象とする場所に近づくこと、またはそこに至る交通の便。

●IC（インターチェンジ）

複数の道路を連結路で接続する立体交差部分の施設で、主に一般道と高速道路とを繋ぐ出入り口を指す。

●NPO（エヌ・ピー・オー）

Nonprofit Organization 又は Not-for-Profit Organization の略で、様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対して収益を分配することを目的とせず、非営利での社会貢献活動や慈善活動を行う市民団体のこと。

カ行

●幹線道路網

都市の主要な骨格をなし、都市相互を連絡するとともに都市内の主要な拠点相互などを連絡する道路（これを“幹線道路”という）が網目状に広がっている状態。

●関係人口

人口の注釈を追加移住や定住はしないものの、様々な形でまちづくりに関わる人の数

●既存ストック

これまでに整備されている都市基盤施設や公共施設、建築物など。

●協働

市民、事業者、NPO 等の各種団体、行政などが各々の目的の実現にあたり、共通する取組や事業について、対等な立場で役割や責任などを分担し、協力して推進すること。

●緊急輸送道路

災害直後から、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線で、高速自動車国道や一般国道及びこれらを連絡する幹線的な道路。

●区域区分

都市計画区域内に設定する、市街化区域と市街化調整区域の区分。

●公共交通空白地域

これまで路線バスなど公共交通を運行していた事業者が撤退するなどにより、バスの停留所、鉄軌道駅などが存しない集落、市街地、その他の交通が不便な地域。

●交流人口

地域を訪れる（交流する）人数のこと。地域を訪れる目的としては、通勤・通学、買い物、文化鑑賞・創造、学習、習い事、スポーツ、観光、レジャー、アミューズメントなどがある。

●コミュニティ

住民どうしの協力や結びつきによる地域の活動やそのまとめり。

●コミュニティバス

市などの自治体が、住民の移動手段を確保するために運行する路線バス。

公共交通空白地域において公共交通サービスを提供するものの他、市街地内の主要施設や観光拠点等を循環する路線などがある。

●コンパクト・プラス・ネットワーク

国が進める重点施策で、人口減少・高齢化が進む中、特に地方都市においては、地域の活力を維持するとともに、医療・福祉・商業等の生活機能を確保し、高齢者が安心して暮らせるよう、地域公共交通と連携した、コンパクトなまちづくりへの転換が求められている。

サ行

●自然的土地利用

農地、山林、水面、河川敷などの土地利用。

●集約型都市構造

都市の無秩序な拡散を抑制し、都市機能の集積を促進する集約拠点とその他の地域を公共交通ネットワークで有機的に連携させる都市構造。集約型都市構造に転換することで、にぎわいのある歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりや、環境負荷低減型の都市活動、効率的かつ効果的な都市整備の実現が期待されている。

●親水空間

河川、湖沼などへの接近性（近づき易さ）を高め、水に触れる、眺める、接するなどの人々が水辺の景観や自然などに親しめる機能をもった空間。

●（都市の）スポンジ化

都市の内部で空地や空家等が疎らに数多く発生し、多数の小さな穴を持つスポンジのように都市の密度が低下すること。

●生活利便施設

銀行、郵便局、病院、商店など、住宅の周辺にある生活に必要な諸々の施設。

●総合計画

市と市民が目指すべき市の将来像を共有し、その実現に向かって計画的に行政運営を行っていくための基本的な考え方や目標を示した市の最上位計画。

タ行

●都市機能

人々が暮らすうえで必要となる、行政機能、商業機能、交通機能、教育・文化・娯楽機能、医療・福祉機能などの総称。

●都市基盤

道路や公園、上下水道など、都市の骨格を形成し、円滑な都市活動を確保し、良好な都市環境を保持するための施設の総称。

●都市計画区域

市町村の行政区域にとらわれず、実際の都市の広がりやを考慮した中で、一体的に整備、開発し、保全する必要がある区域として、都道府県が指定するもの。都市計画区域が指定されると、開発許可基準の引き上げや建築基準法による建築確認申請・集団規定が適用され、用途地域や都市計画施設等の制度活用が可能。

●都市計画区域マスタープラン

県が都市計画法に基づいて、市町村を超える広域の見地から策定するもので、都市計画の目標や土地利用、主要な都市計画の決定の方針等を体系的、総合的に示す計画。

●都市計画道路

都市計画法に基づき決定される道路で、都市の骨格を形成し、安心で安全な市民生活と機能的な都市活動を確保する、都市交通における最も基幹的な都市施設。

●都市公園

都市計画法に基づき、都市環境を創出するため設置する公園。

●都市的土地利用

主として都市における生活や活動を支えるため、人為的に整備、開発された住宅地、工業用地、事務所・店舗用地、一般道路等による土地利用。

●地区計画

都市計画法に基づく都市計画の種類のひとつで、都市計画区域内の土地をその利用目的によって区分し、建築物などについての必要な制限を課すことにより、地域又は地区を単位として一体的かつ合理的な土地利用を実現しようとするもの。

ナ行

●ネットワーク

網目状の構成のこと。まちづくりの分野では、道路などが単独ではなく、相互に有機的に結合していること。

ハ行

●ハザードマップ

津波や浸水被害、土砂災害等の災害に対し、各地域の有する危険性を地図上に表示したもの。

●バリアフリー化

高齢者や障がい者などが生活や活動をするうえで障害となっている、道路や公共交通、建物内の段差など、障壁を取り除き、生活しやすくすること。

●ポテンシャル

開発等に伴い、都市の活力が創出される「可能性のある」「潜在性のある」という意味。

●ポケットパーク

道路整備・改良などによって生まれたスペースに、ベンチを置くなどして作った小さな公園。

マ行

●モビリティ・マネジメント

一人ひとりのモビリティ（移動）が、社会的にも個人的にも望ましい方向（過度な自動車利用から公共交通等を適切に利用する等）に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策。

●未利用地

適正な利用が図られるべき土地であるにもかかわらず、長期間にわたり利用されていない土地のこと。

ヤ行

●ユニバーサルデザイン

高齢者や障がい者という特定の人に限定せず、また、あらゆる体格、年齢、障がいの度合いに関係なく、できるだけ多くの人々が利用可能であるように製品、建物、空間等をデザインする考え方。

●用途地域

都市計画法に基づく地域地区の一種で、建築物の無秩序な混在を防ぎ、良好な市街地環境の形成や、都市内における住居、商業、工業などの適正な配置による機能的な都市活動の確保を目的として、建築物の用途、建ぺい率、容積率、高さなどの規制、誘導をする制度。

ラ行

●ライフライン

生活・生命を維持するための水道・電気・ガス・通信など。